平成３０年度サービス産業調査研究モデル事業委託業務仕様書

１　委託業務名

　　平成３０年度サービス産業調査研究モデル事業

２　業務の目的及び概要

　　本業務は、サービス業特有の課題を抽出し、改善策を策定することにより、対象組合のみならず他組合や事業者へも効果が及び、業界全体の生産性向上に寄与することを目的とする。

３　業務内容

　ワークショップの開催

　　所属部署レベルの視点にとどまらず、ビジネスの定石を理解したうえで、生産性向上ののノウハウ・スキルを身につけると共に、改善活動の先導役となるようワークショップを開催する。

　　①開 催 日　　平成３０年９月～平成３１年１月の平日の２～３日間連続で、当会が別途指定する日

　　②開催回数　　講座３回（計７日間）

　　③開催時間　　概ね１０時～１７時（初回はオリエンテーション有り）

　　④開催場所　　当会が別途指定する会場

　　⑤対 象 者　　県内運送業者の経営者、管理者及び現場リーダー等

　　⑥定　　員　　１２名程度

　　⑦委託の内容　ワークショップの開催に係る業務

　　⑧実施内容　　概ね次のような科目、テーマでカリキュラムを構成するものとする。な

お、受講者は、講座を聞いて学ぶだけではなく、受講者自らが「気付き」、

「考え」、「発言する」ことができるよう対話形式を含むものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | テーマ | 内　容 |
| 1 | 運送業における生産性 | ・生産性の現状 |
| ・運送業が抱える課題 |
| ・生産性向上のための改善手法：原価計算 |
| 2 | 生産性向上のための手法とプロセス | ・生産性向上のための改善手法：問題発見手法と原因分析 |
| ・生産性向上のための手法：KPI |
| ・インターバル課題の説明 |
| 3 | 課題設定及び実行計画策定 | ・個別相談 |
| 4 |
| 5 |
| 5 | 荷主との連携 | ・荷主連携の重要性 |
| ・荷主の物流効率化・コスト削減手法 |
| ・荷主連携による改革推進 |
| 6 | まとめ | ・インターバル課題の報告とディスカッション |

※上記テーマ及び内容について、実施順の変更は可能とする。

４　業務実施に係る留意事項

(１)　委託業務の実施に際して知り得た事実又は個人情報をみだりに第三者に漏らしてはならない。

(２)　委託業務の実施に当たっては県の指示に従うこと。

５　契約期間

　 契約締結日から平成３１年２月２８日までとする。

６　契約限度額

　　９０７，２００円（消費税・地方消費税を含む。）とする。

　　ただし、旅費、宿泊費は別途支給とする。

７　委託の条件

　　受託者は、本業務の実施に当たって、次の条件を遵守しなければならない。

　(１)　委託業務が完了したときは、速やかに平成３０年度サービス産業調査研究モデル事業実績報告書（別紙様式１）を作成し、報告しなければならない。

　(２)　その他の事項及び詳細については、別途、当会と協議の上、決定する。

８　業務に係る留意点

(１)　委託業務の成果物に係る著作権等は、岡山県中小企業団体中央会に帰属する。

(２)　本事業実施に際して知り得た企業及び個人の事実・情報等については、「個人情報取扱特記事項」（別記）のとおりとする。

　(３)　受託者は、当該業務の遂行方法等について不明な点が生じたときは、その都度、岡山県中小企業団体中央会と協議を行い、業務の円滑かつ適切な実施に努めるものとする。

　(４)　 岡山県中小企業団体中央会は、受託者に対し、必要に応じ業務の状況について報告を求めることができるものとする。

別紙様式１

　　年　　月　　日

岡山県中小企業団体中央会

会長　晝田　眞三　様

所　 在 　地

商号又は名称

代表者職・氏名　　　　　　　　　　印

平成３０年度サービス産業調査研究モデル事業実績報告書

　　年　　月　　日付けで契約を締結した下記委託業務について、当該業務が完了したことを報告します。

記

１　業 務 名

２　業務期間

３　報告事項

(１)業務実績

①開催日時

②開催場所

③出席者数

④講座内容

＊別紙（任意様式）による提出可。

(２)事業費

委託業務収支決算書

(単位：円)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 収入科目 | 決算額 | 支出科目 | 決算額 | 備考 |
|  |  |  |  |  |
| 計 |  | 計 |  |  |